理由別の早見表

抜歯を提案されたときに確認したいこと

Save Your Teeth.
save-your-teeth.jp
監修：湯口 晃弘（ユアーズデンタルクリニック院長）

この資料は、**抜くか残すかを決めるためのものではありません。**「なぜ抜歯という判断になったのか」を確認するための資料です。抜歯を提案されることの多い5つの状態ごとに、確認したい検査と、担当の歯科医師に聞く質問を整理しました。説明を受けるときにお持ちください。

5つの状態に共通して確かめられていること

1 使える歯質・骨がどれだけ残っているか

2 感染源を取り除ける見込みがあるか

3 残した歯が噛む力に耐えられるか

状態別の早見表

抜歯を提案されることの多い状態	何が起きているか	確認したい検査・情報	残せるかどうかを左右するもの	担当の歯科医師に聞く質問
1. 虫歯が歯ぐきの下まで進んだ	健康な歯質が歯ぐきの下に隠れ、被せ物の土台が作れないと判断されやすい状態	レントゲン／歯ぐきの下に残っている歯質の確認	使える歯質がどれだけ残っているか	「歯ぐきの下に、使える歯質はどれくらい残っていますか」 「歯質を歯ぐきの上に出す方法は検討できますか」
2. 重度の歯周病で歯が揺れている	歯を支える骨が溶けている状態	歯周ポケットの測定／レントゲンで骨の形を見る	骨の溶け方（部分的に深く溶けているか、全体的に失われているか）	「骨の溶け方は部分的ですか、全体的ですか」 「歯周組織再生療法の適応になりますか」
3. 根の治療を続けても、根の先の病変や腫れが続いている	根の先に膿の袋がある、腫れを繰り返している状態	レントゲン／マイクロスコープ（顕微鏡）での確認	感染源を取り除ける見込みがあるか	「感染源は取り除けそうですか」 「精密な再治療や、根の先だけを処置する方法は検討できますか」
4. 歯が割れた・折れた（歯根破折）	歯にひびが入る、割れている状態	レントゲン／割れの位置と方向の確認	割れの位置と方向（歯ぐきより上か、根が縦に割れているか）	「割れているのは歯ぐきより上ですか、下ですか」 「縦方向の割れですか、横方向ですか」
5. 根の病気と歯周病が同じ歯に重なっている	エンドペリオ病変。2つの病気が同じ歯に重なっている状態	レントゲン／歯周ポケットの測定	どちらが主な原因かを見極められるか	「主な原因は根の病気と歯周病のどちらですか」 「治療はどちらから始めますか」

すべての歯を残すことが、最善とは限りません。無理に残した歯が、隣の歯や噛み合わせに影響することもあります。歯を支える骨が広い範囲で失われている場合など、残せない歯もあります。

同じ状態のなかでも、条件によって判断は分かれます。この資料の目的は、抜歯という判断が**どの検査にもとづいているかを確認できる状態にしておくこと**です。

メモ（説明を受けた内容・質問の答え）

※一般的な判断の材料を整理したもので、個別の診断に代わるものではありません。

作成：医療法人令徳会 ユアーズデンタルクリニック（札幌市中央区）／2026年11月